令和２年度　第２回京田辺市健康づくり推進協議会【要点録】

日時：令和３年３月23日（火）午後２時～３時

場所：京田辺市立中央公民館　第３,４研修室

１　開会あいさつ

２　報告・協議項目

〇第２期京田辺市健康増進計画・食育推進計画策定について

・市民意識調査　調査結果報告

・調査結果報告を受けての意見交換

３　その他

４　閉会

---------------------------------------------------------------------------------------------------

１　開会あいさつ

２　報告・協議項目

〇第２期京田辺市健康増進計画・食育推進計画策定について

・市民意識調査　調査結果報告

・調査結果報告を受けての意見交換

*【事務局】　資料２「市民の健康に関する意識・状況　～健康に関する市民意識調査結果概要～」*

*「１）健康状態・意識」「２）栄養・食生活」の説明*

【会長】健康状態の「小中学生の体型認識と実際の体型のずれ」などについてはローレル指数を活用しているが、文部科学省が毎年行っている学校統計調査では、肥満度という特別の式を使っている。

データはこのままでいいと思うが、今回の調査では肥満度ではなくローレル指数を用いているというような注釈をひと言入れておけば、引っかかりを持たれないかなと思う。

【委員】「自分の体型についての認識」のところで、「普通」の人が多くなって、「太っている」「少し太っている」がちょっと少なくなってきているかなと思う。

最近は太っているのが良いのだという人たちが増えてきている。それがよい傾向なのか何とも言えないが、太っている人が増加するのではないかとちょっと心配である。

【会長】学校統計調査結果を見る限り、ここ最近、痩せ過ぎも太り過ぎもどちらも、数字的には落ちてきている。太っていてもいいという認識がどの程度、子どもたちに広まっているのかは調べてみないと分からない。今回のデータはあくまでも、「こうなっています」ということ。

*【事務局】　資料２「３）身体活動・運動」「４）休養・こころの健康」の説明*

【委員】「就寝時間」で、就寝時間の長い人・短い人に関して、朝起きた時にすっきり目がさめるか・さめないかとか、疲労感が残っていることがあるかなど、クロス集計で相関関係を見てほしい。

【会長】子どもの睡眠時間とやる気みたいなものは、学術的に特に研究は進んできているので、そういう情報はかなり出ている。

今後、クロス集計を実施する際には、ある程度科学的な状況も踏まえて、解析した方がよい。

【事務局】ご意見頂いたものについては、仮説を立てて、クロス集計を行い、次の計画に反映させていきたい。

【会長】クロス集計というのは、あるものとあるものとの関連性が出てくるのを見たい時に実施するが、第三の因子が実は関連していて、そっちの方が大きく影響しているという場合がある。ある程度きちっとした学術的な見方もしないと、誤った政策を市民に課すことになるので、その点は十分に気を付けないといけない。

*【事務局】　資料２「５）たばこ」～「10）社会との関わり・健康づくりに関する考え方」の説明*

【委員】成人の「喫煙状況」については性別で結果を知りたい。

【会長】男女を分けて集計ということで、例えば、ある項目について、男性は改善しているけど女性は変わらないとか、むしろ女性が悪くなっているというのがあったら、この項目について、京田辺市では女性を対象に重点的に取り組みましょうということになってくると思う。

【委員】小中学生が飲酒の経験では、どれくらい飲んだら飲酒経験になるのか。

【会長】アンケートではどう聞いていたか。

【事務局】「あなたはお酒を飲んだことがありますか」という聞き方になっている。

【会長】その聞き方だと、親から飲まされているのか、隠れて飲んでいるのかまでは判別できない。どういう状況で飲んでいるのか、たばこもどういう状況で吸っているのかというのは、もう少し状況を細かく聞く必要が場合によってはあるかもしれない。

３．その他

【事務局】　来年度の予定について説明

４．閉会